

# 出雲市伊野地区 FR出動事案(第1回) 2016,9,26

メール配信日時	平成28年9月26日 23時06分
現場	出雲市野郷町
出動隊員	9名(現場到着者5名、途中で引き返した隊員4名)
対応内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AED運搬</li> <li>・心肺蘇生</li> <li>・救急車誘導</li> <li>・家族対応</li> <li>・その他</li> </ul>
成果	<p>①伊野地区FR発足後、初めての事案であったが、夜間にもかかわらず9名の隊員が出動し、伊野地区FRが機能することを証明した。</p> <p>②患者の救命に成功した。患者は翌日の夕刻、死亡したが、家族や親戚が最期を看取る時間を確保することができ、感謝された。</p>
課題や教訓	<p>①位置情報 現場の位置情報を正確に知るための手立てを検討する。(現場に到着できなかった隊員もいた)</p> <p>②救急車到着メール 救急車が現場に到着したことをFR隊員に知らせるメールを配信してほしい。</p> <p>③AED ・収納バッグ内に装備されている物の確認や電源の落とし方など、AEDに関する研修が必要である。 ・AED収納バッグ内に、119番通報後に消防署と連絡をとるための電話番号カードを入れておく。AEDが持ち出されたことがわかるように、収納ボックスに発光材使用のシールを貼るようにする。</p> <p>④夜間出動の困難 現場付近に到着後、患者宅までの足下を照らしたり、救急車やかけつける隊員を誘導したりするための懐中電灯は必須である。また、「道がわかりにくい」「夜道を走るのはとても不安」「深夜でも出動しないといけないのか」など、夜間出動に伴う不安の声が挙がった。</p> <p>⑤研修 年1回の義務研修に加え、自主研修の機会を設け、隊員の能力向上や伊野FRのチーム力向上を図るようにしたい。</p>
事後対応	<p>①出動した隊員の心理的ケアについては、伊野FRハンドブック内にある「PTSD予防チェックリスト」による自己診断を要請した。</p> <p>②事案のふりかえりと出動した隊員の心理的ケアをねらいとして、9月29日、事案検討会議を開催した。(詳細:別紙)</p>